

高等学校（1学年用）

教科 国語

科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（A組：鷹取） （B組：鷹取） （C組：鷹取） （D組：橋本） （E組：橋本）

使用教科書：（ 言文708『高等学校 言語文化』（数研出版） ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉をもとに、ものごとについて正確に考え、適切且つ多様に表現する。

【学びに向かう力、人間性等】言語、言葉のもつ価値や感覚を尊重するとともに、自身の言語能力の向上を図ることができる。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	言語とそれに関する文化を通して考える力や想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書	読					
A 古文の世界を楽しむ 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 1 歴史的仮名遣いに注意して繰り返し音読する。 2 児が心の中で思っている部分を抜き出し、心の動きを整理する。 3 児が「寝たる由」をしていることに僧たちが気がついたのはいつか話し合う。 4 「三寸ばかりなる人」の不思議さを説明する。 5 竹取の翁の生活の変化について説明する。 ・教材 検非違使忠明	○	○	○	○	○	○	○	10	
		定期考査			○	○		○	○	
B 受け継がれる古文 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 1 この作品の背景となっている京都の町や羅生門の描写に注目し、そこに描かれている当時の社会状況についてまとめる。 2 下人が羅生門の下に至るまでの経緯をふまえ、門の下での下人の心情についてまとめる。 3 楼に上った下人の心理の推移を、箇条書きにして整理する。 4 老婆は自分の行いにどうのように語っているか、また、下人はそれをどのように受け止めているか、整理する。 ・教材 羅生門	○	○			○	○	○	11	
		定期考査			○	○		○	○	
C 日本語の中に生きる漢文 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 1 「漢文の基本構造と訓読」を読み、訓読の基本的なきまりについて理解する。 2 成句・格言を繰り返し音読する。 3 「置き字/再読文字」を読み、訓読の基本的なきまりについて理解する。	○	○	○	○	○	○	○	7	
		定期考査			○	○		○	○	

2 学 期	A 「ことば」を吟味する【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項1 登場人物の心情を行動や言動から読み取る。2 情景描写の効果について理解する。3 辞書の読み比べを行い、違いについて考察する。 ・教材 舟を編む			【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。				5
	B 和歌による心の交流 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 1 男の行動を順を追って整理する。 2 女の素性について台詞の内容から推察する。 3 「白玉か……」の歌にこめられた男の心情を説明する。 4 男が京から東国へ旅立った時の思いを説明する。 5 駿河の国で詠まれた二つの歌にこめられた心情をそれぞれ説明する。 6 「名にし負はば……」の歌を聞いた際の「みな人」の思いについて話し合う。 ・教材 芥川、東下り（伊勢物語）			【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く『伊勢物語』と『今昔物語集』の違いを抽出し、学習課題に沿って文章表現についての話し合いに参加しようとしている。				6
	定期考査								1
	C 語感を磨く 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 1 登場人物の心情を行動や言動から読み取る。 2 情景描写の効果について理解する。 3 心情描写について考察する。 ・教材 カンガルーが待ってる			【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができる。				8
	D 詩歌の系譜 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【思考力、判断力、表現力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 1 それぞれの短歌を音読し、その調べを味わう。 2 それぞれの短歌について、句切れを調べ、句切れのもたらす表現効果について話し合う。 3 短歌を自作し、批評し合う。 ・教材 短歌			【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。				7
定期考査								1	

